令和８年１１月２０日
議員全員協議会資料
総　合　政　策　部

合併を一つの選択肢として研究・検討する研究会への参加方針について

１．経過

令和８年１０月５日に開催された泉州南未来像研究会において、泉佐野市及び泉南市から、現在の広域連携の議論に加え、「合併」を一つの選択肢として研究・検討する新たな枠組みの立ち上げについて提案がなされ、本町及び阪南市は持ち帰って検討するとしたものです。

【泉州南未来像研究会】

・構成員…泉佐野市長、泉南市長、阪南市長、熊取町長、大阪府市町村局長

・取　組…地域ポイント、公共施設のあり方、消費生活センターの共同処理、窓口業務など広域連携について検討。

２．基本方針

熊取町の未来にとって一番良い選択肢は何かを研究することは大切であり、提案のあった『合併を一つの選択肢として研究・検討する研究会』は、「広域連携等を進めながら単独で町政運営する場合」や「合併する場合」について、将来本格的に検討する際の判断基準づくりの場になるものと考えられるため、参加することといたします。

３．参加することとした理由等

・本町においても人口減少・少子高齢化が進み、社会保障関係経費の増加、公共施設の老朽化、専門職員等の人材確保などの課題がある中で、将来にわたり本町単独でこれまでどおりの行政サービスを変わらず提供することが財政的に困難になることも想定されます。

・研究会に参加し、「合併した場合」の住民サービスや住民負担等について具体的な研究を行うことで、将来的に「町単独で行政運営を行う場合」とのメリット・デメリットを比較・検討するためのデータ等を集積できます。

・研究会は合併を前提としたものではなく、合併をあくまでも一つの選択肢として、将来の行政運営のあり方を多角的に検討する場であり、研究会への参加をもって、合併に向けた具体的な議論が始まるものではありません。

・参加後は、内容や進捗状況等について、定期的に議会及び、住民の皆様と情報共有しながら研究を進めます。